

第2回

日本抗体学会学術大会

The 2nd Meeting of the Antibody Society of Japan

プログラム・抄録集

会期

2023年 12月1日金～3日日

会場

ライカ南国ホール

〒890-0053 鹿児島市中央町 19-40 Li-Ka1920 5階
【ハイブリッド開催】

世話人

伊東 祐二

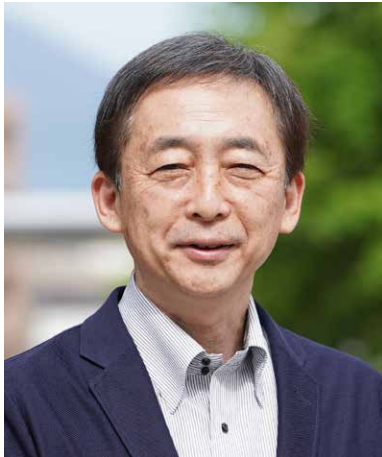
鹿児島大学大学院理工学研究科 教授



目次

ご挨拶	1
役員一覧 / 歴代世話人と開催地	2
会場へのアクセス	3
会場のご案内	4
参加者へのご案内	5
口頭発表座長・演者へのご案内	8
ポスター発表者へのご案内	10
日程表	11
プログラム	
1日目 12月1日(金)	14
2日目 12月2日(日)	15
3日目 12月3日(日)	17
ポスター発表	19
抄録	
招待講演	30
ランチョンセミナー	71
ポスター発表	78
バナー広告一覧	209
賛助会員一覧	210
広告協賛企業一覧	211
広告	212

ご挨拶



第2回日本抗体学会学術大会 世話人
日本抗体学会会長 **伊東 祐二**
鹿児島大学大学院理工学研究科 教授

皆様、こんにちは。本学会長を拝命しております、鹿児島大学の伊東祐二です。2023年12月1-3日に、第2回学術大会を鹿児島ライカホールにて開催できますこと、大変嬉しく思っております。

2022年の4月に産声をあげました本学会ですが、順調に会員数も伸びまして、現在1100名を超えるに至っております。昨年11月に開催した第1回の学術大会では、455名もの参加をいただき、大変盛況な学術大会となりました。この流れを受けて、第2回を開催する運びとなりましたが、11月3日の段階で、参加登録者は400名を超えており、今回も大変盛況で活発な学術大会になることが期待されます。

第2回学術大会では、開催日程も第1回での2日間から3日間に拡大し、口頭発表数も増やしました。第一回では、口頭発表はすべて依頼講演のみとし24題の演題が発表されましたが、第2回では、26題の依頼講演に加えて、ポスター発表の演題から10題を一般講演として選抜し、口頭発表を行っていただくという新しい試みを始めました。さらにポスター発表については、昨年が88演題であったのに対し、今回は大幅に増えて130題の申し込みがありました。このことから、研究者の皆様の本会への熱い期待を感じている次第です。

このような状況の中で開催される第2回学術大会ですが、日本の中では唯一の抗体研究を中心とした発表、討論ができる学会として、しっかりとその役割を果たして行きたいと存じております。まずは、第2回学術大会にて快く依頼講演をお引き受けいただきました先生方に心より感謝申し上げます。ご参加の皆様には、是非活発な議論と交流を通して有意義な時間を過ごしていただくことを祈念しております。

最後になりましたが、本学会の運営におきましては、バナー広告、賛助会員へのご賛同、また第2回の学術大会の開催に向けては、展示・広告等のご協力をいただきましたこと、企業の皆様に、厚く感謝の意を表します。要旨集の末尾で恐縮ですが、ご賛同、ご協力いただきました企業の皆様のリストを掲載させていただきましたのでご覧ください。

それでは、鹿児島での第2回学術大会にて、お会いできることを楽しみにしております。引き続き本会へのご理解とご協力のほど宜しくお願いいたします。

役員一覧

会 長	伊東 祐二	鹿児島大学・教授
副 会 長	根本 直人	埼玉大学・教授
幹事（総務）	梅津 光央	東北大学・教授
幹事（会計）	村上 明一	徳島大学・准教授
運営委員	石井 明子	国立医薬品食品衛生研究所・部長
	内山 進	大阪大学・教授
	津本 浩平	東京大学・教授
	萩原 義久	産業総合技術研究所・研究部門長
監 査	白井 宏樹	理化学研究所・コーディネーター

(50音順)

歴代世話人と開催地

	開催年月日	開催地	世話人
第1回	2022年11月26日・27日	鹿児島	伊東 祐二（鹿児島大学）
第2回	2023年12月1日～3日	鹿児島	伊東 祐二（鹿児島大学）
第3回（予定）	2024年12月8日～11日	仙 台	梅津 光央（東北大学）

会場へのアクセス



●飛行機でお越しの方

鹿児島空港からリムジンバスで約 40 分 ➡ 「鹿児島中央駅」下車、徒歩約 1 分

●電車でお越しの方

JR 九州新幹線・鹿児島本線・指宿枕崎線・日豊本線「鹿児島中央駅」下車、徒歩 1 分
(アミュプラザ鹿児島プレミアム館 2 階からペDESTリアンデッキで直結)

●車でお越しの方

九州自動車道で鹿児島 IC から約 10 分、鹿児島北 IC から約 15 分

※ Li-Ka1920 施設内には駐車場はございません。

隔地駐車場 (Li-Ka 南国パーキング) をご利用ください。

(料金：30 分 / 100 円(税込)、高さ制限：2m)

●市電でお越しの方

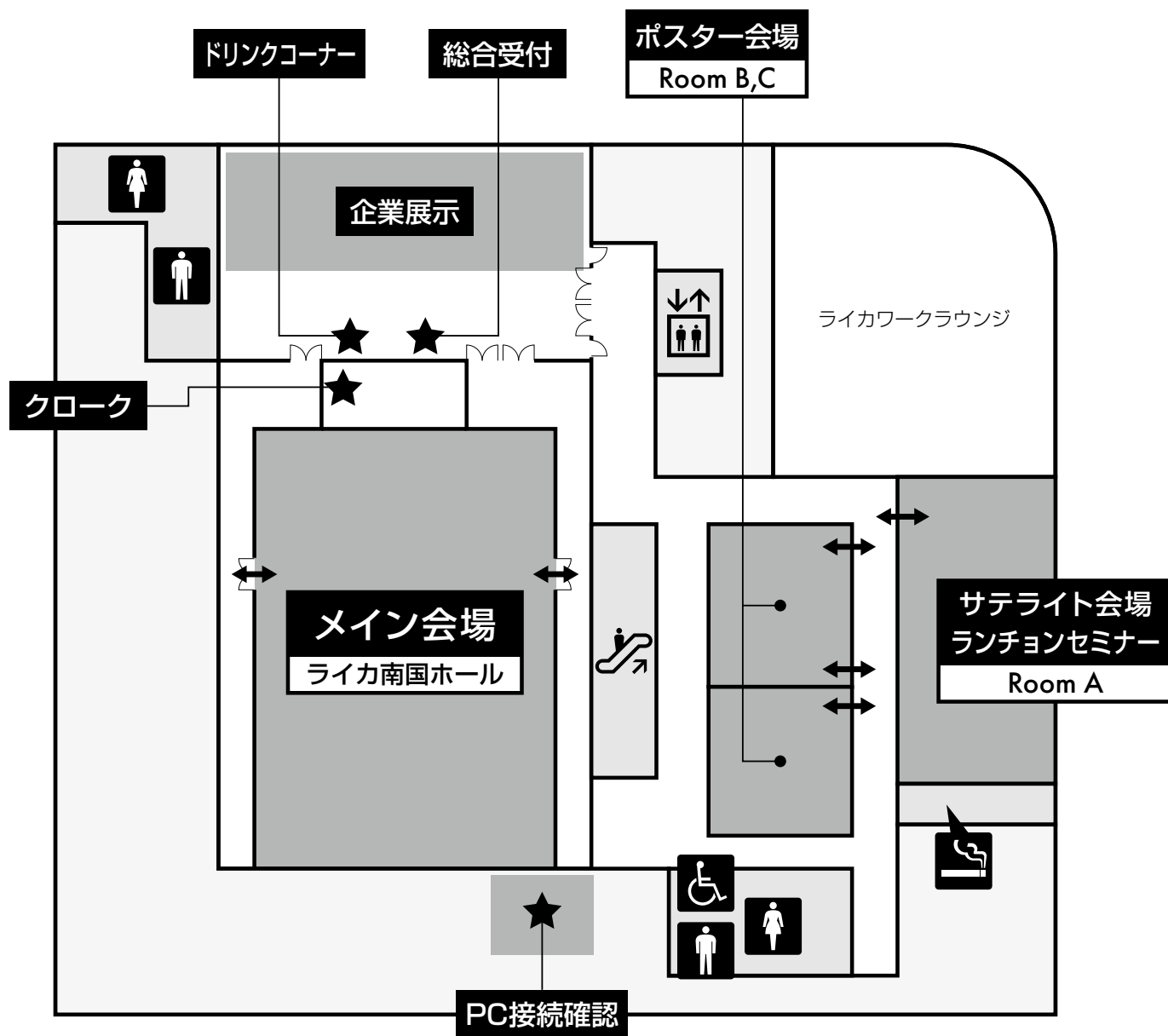
市電「鹿児島中央駅前」下車、徒歩約 1 分

●バスでお越しの方

市内各方面から「鹿児島中央駅前」下車、徒歩約 1 分

会場のご案内

Li-Ka1920 (ライカイキューニマル) 5F



参加者へのご案内

◆会期

2023年12月1日(金)～3日(日)

◆講演会場

以下の2つの会場をオンラインでつなぎ、開催します。質疑応答は、メイン会場でのマイクを通して、あるいはZoomWebinarのQ&Aによる書き込みで行われます(チャット機能は使用しません)。サテライト会場は視聴のみです。

メイン会場：Li-Ka1920 (ライカイキューニ-マル) 5F「ライカ南国ホール」(400席)

サテライト会場：Li-Ka1920 (ライカイキューニ-マル) 5F「Room A」(150席)

◆ポスター会場

Li-Ka1920 (ライカイキューニ-マル) 5F「Room B, C」

oViceによるオンライン会場(会場のURLは、開催3日前を目途にメールにて配信)

◆ランチョン会場

メイン会場：Li-Ka1920 (ライカイキューニ-マル) 5F「ライカ南国ホール」(400席)

サテライト会場：Li-Ka1920 (ライカイキューニ-マル) 5F「Room A」(150席)

◆展示会場

Li-Ka1920 (ライカイキューニ-マル) 5F「ライカ南国ホール」ホワイエ

◆開催形式

口頭発表：実地開催(対面)およびZoom Webinarによるライブ配信

ポスター発表：実地開催(対面)およびoViceによるバーチャル展示発表

※oViceによるポスター発表では、オンラインでのポスター発表者とは口頭で議論できますが、ポスター展示横にコメントを残すなど限定的な討論になる事、ご了解ください。

詳しくはp7「ライブ配信ご視聴の方へ」の「ポスター発表参加方法」をご覧ください。

◆プログラム・抄録集

賛助会員、事前参加登録された一般、学生会員の方には、事前にPDFファイルとして配布いたします(印刷物はありません)。

事前に配布される、ユーザー名とパスワードにより、当会ホームページから、プログラム・抄録集のPDFファイルをダウンロードください。

ご来場の方へ

◆事前登録者受付

受付時間：12月1日(金) 11:30～16:30

12月2日(土) 9:00～17:00

12月3日(日) 9:00～15:30

場 所：Li-Ka1920 (ライカイフェニカル) 5F「ライカ南国ホール」ホワイエ

参 加 証：大会参加には、参加証（ネームカード）の提示が必要です。

参加登録番号（ID）をお申し出いただき、参加証を学会受付にてお受け取りください。

振込後に発行された領収証を確認させていただきますので、必ずご持参ください。

◆参加費

事前登録 2023年6月6日(火)～11月24日(金)

賛助会員	お申込み口数まで無料
一般会員	10,000円
学生会員	2,000円

※学会参加者はランチョンセミナーを含むすべての学会セッションならびに展示会場への入場可。

また、展示ブースでの営業の方などにも、学会参加者として、会員登録、並びに参加登録・参加費支払いをお願いしております。

◆当日登録受付

当日の参加登録は原則行いませんので、必ず事前に参加登録、参加費支払いをお済ませください。

当日に参加を申し込まれても、参加をお断りするか、オンライン参加に限定させていただくこととなりますので、何卒ご了解ください。

◆発表内容の写真撮影、録音・録画について

各会場内ならびにライブ配信での撮影（写真・映像）、ならびに録音を固くお断りいたします。

◆ランチョンセミナー

12月2日(土)、12月3日(日)にランチョンセミナーを行います。

当日の朝9:00からランチョンセミナーチケットを先着順に、受付にて配布いたします。

数に限りがありますこと予めご了承ください。

◆ドリンクコーナー

メイン会場「ライカ南国ホール」ホワイエに設けております。

◆クローク

メイン会場「ライカ南国ホール」入口付近（p4「会場のご案内」でご確認ください）

1日目 11:30～19:00

2日目 9:00～20:00

3日目 9:00～17:00

◆懇親会

12月1日(金) 19:00 から、以下の会場で開催します(開場:18:00)。

会 場:くわはら館(鹿児島中央ターミナルビル 7F ソラリアホテル受付横)

参加方法:学術大会の申し込みと一緒にホームページよりお申し込みください。

参加費も、学術大会参加費と一緒にお振り込み願います。

(申し込み多数のため、締切らせていただきました。)

ライブ配信ご視聴の方へ

◆講演参加方法

事前参加登録(オンライン参加者情報登録及び銀行振り込み)を指定期日までに完了された方には、ライブ配信視聴用(Zoom Webinar)の URL を、開催3日前を目処に、メールでお送りいたします。参加される際には、Zoom 上の参加者のお名前を以下の様に変更してください。

参加登録番号(ID) C**** + お名前(所属) 例: C0001 鹿児島太郎(鹿児島大)

参加登録番号が確認できない参加者は、強制的に退出させていただくことがあります。

◆ポスター発表参加方法

oVice によるポスター発表展示を行います。後日メールにて配布されるライブ配信視聴用のメールに記載された oVice 参加用の URL から、スペースに参加して、ポスターを閲覧してください。

ただし、対面でのポスター発表者は、現地での討論に集中せざるを得ません。そのため、ポスター閲覧後、質問などがある場合には、“掲示板にてコメントを残す”などで対応をお願いします。

オンラインでのポスター発表者に対しては、発表者のアバターに近づいてマイクで直接話しかけて討論いただきますようお願いいたします。

スペースに入場する際の Name は以下の様をお願いします。

参加登録番号(ID) C**** + お名前(所属) 例: C0001 鹿児島太郎(鹿児島大)

◆連絡事務局

日本抗体学会事務局

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21-35

鹿児島大学大学院理工学研究科理学系専攻化学プログラム内

TEL: 099-285-8110 FAX: 099-285-8037

E-mail: office@antibodysociety.jp

◆現地サポート事務局

株式会社 CSS

〒891-0117 鹿児島市西谷山3丁目1番2号

TEL: 099-298-1511 FAX: 099-298-1512

E-mail: pcoll@css-kyushu.jp

口頭発表座長・演者へのご案内

《座長の方へ》

担当セッション開始予定時刻の 15 分前までに担当会場の演者・座長席へお越しいただき、次座長席（スクリーンに向かい、会場左前方）にてお待ちください。

オンライン視聴者からの Q&A の質問への対応のため、インターネットに接続された PC の準備をお願いします。

各セッションの進行は座長に一任いたしますが、終了時刻は厳守いただきますようお願いいたします。

《演者の方へ》

1. 発表会場

発表は、メイン会場「ライカ南国ホール」を使い行われます。

サテライト会場は、視聴のみです。

2. 発表時間

発表時間は各人で異なりますので、プログラムにてご確認をお願いします。この発表時間は、質疑応答を含めた時間ですので、少なくとも 3~5 分は質疑応答の時間を取っていただくようお願いいたします。

プログラムの円滑な進行のため、時間厳守をお願いいたします。持ち時間終了 5 分前に一鈴、3 分前に 2 鈴、終了時に 3 鈴ベルを鳴らします。

質疑応答は座長の指示に従ってください。

3. 口演はすべて PC による発表のみです。演者の PC 上のスライドを Zoom で画面共有することで配信映写を行いますので、インターネットに接続された、ご自分の PC の準備をお願いします。PC のインターネットへの接続は p4「会場のご案内」の「PC 接続確認」の部屋でお願いします。（ご準備ができない場合には、こちらで準備いたしますので、USB メモリーなどに発表スライドファイルを保存してご持参ください）。音声に関しては、会場のマイクとスピーカーのシステムを利用し配信します。ご自身の PC のマイク、スピーカーは必ずオフにしてください。

4. ご発表の 1 つ前の演題が始まった時点で、スタッフにお声かけを行い、再度 PC のインターネット接続ならびに Zoom への接続を確認してください。会場内の次演者席（スクリーンに向かって会場左前方）にて待機し、発表の 2 分前に（発表の 1 分前に壇上左横に待機ください）、壇上にお立ちください。

5. ご発表時は、Zoom でスライドの画面共有を開始し、ご自身でマウスによるポインター等の操作を行いながら、会場のマイクを利用して発表してください。

6. 会場でのご発表は、サテライト会場の方ならびに会場にお越しになれない当会の参加者を対象にライブ配信されます。

7. スライドのサイズは 4:3、16:9 どちらでも結構です。

8. PC からの音声は使用できません。

9. 発表者ツールは使用できません。

10. Macintosh をご利用の場合は、インターネットに接続可能なご自身の PC をお持ちください。

【データを持参される場合（Windows のみ）】

- データは、USB メモリーでお持ちください。
- 上記メディア以外はお使用になれませんのでご注意ください。
- 口演会場では Windows11 を搭載した PC をご用意いたします。アプリケーションソフトは、Windows 版 office365 PowerPoint です。

- 動画ファイルは配信にトラブルが起りやすいため、極力ご使用はお控えください。
- 発表データにリンクファイル（静止画・グラフ等）がある場合は、PowerPoint ファイルとリンクファイルを1つのフォルダにまとめて保存してください。
- 発表データ作成後、事前に必ずウイルスチェックと、作成に使用されたパソコン以外での動作確認をお願いいたします。
- 事務局が準備した PC にコピーした発表データは、事務局にて責任を持って消去いたします。

【PC を持参される場合（Windows、Macintosh とも可）】

- バックアップ用データとしてメディア（USB メモリー）もお持ちください。
- 必ずパソコン付属の電源アダプターをお持ちください。
- Zoom の Webinar にて、インターネットに接続したご自身の PC を使って発表していただきます。会場でのインターネット接続は、ご自身の Wi-Fi ルーターを使うか、会場の Wi-Fi もしくはオンライン接続によって行っていただきます。どちらも利用できない場合、事務局で準備した Wi-Fi ルーターにより接続します。
- パスワード設定、スクリーンセーバー、省電力設定はあらかじめ解除してください。

【利益相反（COI）の開示について】

本学会には規定はありませんが、必要に応じ、利益相反（COI）の有無を開示してください。以下のサンプルを参考に、開示スライドを発表スライドに含めてください。

(演題名)
(筆頭演者氏名)
(所属)

本演題の発表に際して開示すべき
COI はありません。

COI なしの場合

(演題名)
(筆頭演者氏名)
(所属)

本演題の発表に際して開示すべき
COI は以下の通りです。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 役員、顧問職なし 2. 株の保有なし 3. 特許権使用料なし 4. 講演料あり (〇〇製薬) 5. 原稿料なし 6. 研究費あり (〇〇製薬) 7. その他なし 	}	金額は開示不要
---	---	---------

COI ありの場合

ポスター発表者へのご案内

1) 発表日程

ポスター発表の日程は以下の通りです。

1日目：12月1日(金) P-1～P-65

[奇数番号] 16:50～17:40 [偶数番号] 17:40～18:30

2日目：12月2日(土) P-66～P-130

[奇数番号] 17:30～18:20 [偶数番号] 18:20～19:10

加えて、コーヒブレイク時にも発表をしていただいても構いません。

2) ポスターの貼り付け

ポスターのサイズはA0タテです。ポスター会場の指定された番号のパネルにピンなどで貼り付けてください。

貼付：12月1日(金) P-1～P-65 11:30～14:00

12月2日(土) P-66～P-130 9:00～10:30

撤去：12月1日(金) P-1～P-65 18:30～19:00

12月2日(土) P-66～P-130 19:10～20:00

3) oViceによるポスター展示のお願い

オンライン参加者のため、すべての発表者の方にoViceによるポスター展示をお願いしています。発表ポスターのPDF（おおよそ10M以内のファイルの大きさのもの）を、11月1日～11月24日までの期間に、要旨の送付と同じ要領で、マイページの論文投稿＞論文投稿を編集する＞発表要旨（PDF）のファイルの選択＞を行って、今度はポスターファイルをアップロードしていただくと、置き換わりますので、これで提出完了です。提出完了の場合、通信欄に「ポスター提出完了」と書いていただくと助かります。

PDFファイルは、oViveのスペースの中に固定オブジェクトとして、印刷、ダウンロードできないモードで掲示させていただきます。

4) oViceによるポスター発表について

対面でのポスター発表者の方は、対面での発表時間終了後に、oViceのスペースに入り、コメントが残されていないかなどチェックをお願いします。

ポスター発表をオンラインで行う方は、発表時間になりましたら、oViceのスペース内で、来場者に近づいてマイクなどで直接討論してください。

日 程 表 《 1 日 目 》 12 月 1 日 金

	メイン会場	サテライト会場	ポスター会場
	Li-Ka1920 5F ライカ南国ホール	Li-Ka1920 5F Room A	Li-Ka1920 5F Room B, C
			企業展示 Li-Ka1920 5F ライカ南国ホール ホワイエ
11:00			
12:00	12:30~12:40 開会の辞 (日本抗体学会会長)		
13:00	12:40~ O-1 (P-5) 笠原 慶亮 (東京大)		
	13:00~ O-2 (P-6) 芦田 仁己 (㈱エスビー健康研究所)		
	13:20~ O-3 (P-49) Aaron K. Sato (Twist Bioscience)		
	13:40~ O-4 (P-60) 萩原 真二 (ベルセクスプロテオミクス)		
14:00	14:00~ O-5 (P-64) 江崎 寛季 (名古屋大)		
	14:20~ O-6 (P-31) 飛知和 弦輝 (鳥取大)		
15:00	<i>Coffee Break</i>		
	15:10~ C-1 児玉 龍彦 (東京大)		
	15:35~ C-2 片山 和彦 (北里大)		
16:00	16:00~ C-3 土井 尚人 (㈱イーベック)		
	16:25~ C-4 土屋 政幸 (Epsilon Molecular Engineering)		
17:00			11:30~14:00 ポスター貼付
			12:40~18:30 ポスター展示
			12:40~18:30 企業展示
18:00			16:50~17:40 ポスター発表 P-1 ~ P-65 (奇数番号)
			17:40~18:30 ポスター発表 P-1 ~ P-65 (偶数番号)
19:00			18:30~19:00 ポスター撤去
	19:00~ 懇 親 会 くわはら館 (鹿児島中央ターミナルビル 7F)		

日 程 表 《2日目》12月2日 田

	メイン会場 Li-Ka1920 5F ライカ南国ホール	サテライト会場 Li-Ka1920 5F Room A	ポスター会場 Li-Ka1920 5F Room B, C	企業展示 Li-Ka1920 5F ライカ南国ホール ホワイエ
9:00				
9:30~	O-7 (P-52) 前田 佳夕 (京大)		9:00~10:30 ポスター貼付	
9:50~	O-8 (P-86) 田畑 耕史郎 (北海道大)			
10:10~	O-9 (P-108) 小澤 龍彦 (富山大)			
10:30~	O-10 (P-118) 森岡 弘志 (熊本大)			
11:00	<i>Coffee Break</i>			
11:20~	C-5 倉持 太一 (中外製薬(株))		9:30~19:10 ポスター展示	
12:05~	C-6 黒川 智文 (大正製薬(株))			
12:30~	C-7 金田 靖行 (第一三共(株))			
13:00	12:55~13:55 ランチョンセミナー 1 金廣 優一、横山 亮 株式会社エービー・サイエックス	12:55~13:55 ランチョンセミナー 2 長門石 暁、津本 浩平 (東京大) 東ソー株式会社		
14:00	13:55~ C-8 中西 猛 (大阪公立大)		9:30~19:10 企業展示	
14:20~	C-9 立花 太郎 (大阪公立大)			
15:00	14:45~ C-10 真壁 幸樹 (山形大)			
	<i>Coffee Break</i>			
16:00	15:40~ C-11 前田 真吾 (シスメックス(株))			
	16:05~ C-12 渡邊 秀樹 (産業技術総合研究所)			
17:00	16:30~ C-13 小泉 智信 (理化学研究所)			
	16:55~ C-14 Junho Chung (Seoul National University)			
18:00			17:30~18:20 ポスター発表 P-66 ~ P-130 (奇数番号)	
19:00			18:20~19:10 ポスター発表 P-66 ~ P-130 (偶数番号)	
20:00			19:10~20:00 ポスター撤去	

日 程 表 《3日目》12月3日(日)

	メイン会場	サテライト会場	ポスター会場	企業展示
	Li-Ka1920 5F ライカ南国ホール	Li-Ka1920 5F Room A	Li-Ka1920 5F Room B, C	Li-Ka1920 5F ライカ南国ホール ホワイエ
9:00				
9:30~	C-15 原谷 健太 (中外製薬㈱)			9:30~13:30 企業展示
9:55~	C-16 木吉 真人 (国立医薬品食品衛生研究所)			
10:20~	C-17 清水 芳実 (帝京平成大)			
11:00	<i>Coffee Break</i>			
11:15~	C-18 菊池 信介 (協和キリン㈱)			
11:40~	C-19 内山 進 (大阪大)			
12:00	12:05~ C-20 吉川 弘樹 (テルモ㈱)			
12:30~13:30	ランチョンセミナー 3 眞鍋 史乃 (星薬科大) 日本ウォーターズ株式会社	12:30~13:30 ランチョンセミナー 4 根本 直人、熊地 重文、讃良 茂浩 株式会社 Epsilon Molecular Engineering		
13:30~	C-21 大澤 賢太郎 (㈱日立ハイテク)			
13:55~	C-22 加藤 且也 (日本特殊陶業)			
14:20~	C-23 大野 侑香 (東ソー㈱)			
14:45~	C-24 松永 康祐 (埼玉大)			
15:10~	C-25 Eliud Oloo (Schrödinger Inc.)			
15:35~	C-26 浜松 典郎 (㈱レボルカ)			
16:00~	閉会の辞 (日本抗体学会副会長) ※ポスター賞表彰			
17:00				

プログラム

1日目>12月1日金

12:30-12:40 **開会の辞** (日本抗体学会会長 伊東 祐二)

座長：梅津 光央 (東北大学)

- 12:40-13:00 **O-1 (P-5)**
Fab 抗体と Nanobody のスーパーチャージによる物性・機能改質
東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 笠原 慶亮
- 13:00-13:20 **O-2 (P-6)**
GPCR 特異的抗体を迅速・高効率に取得する革新的技術
株式会社エヌビーイー健康研究所 芦田 仁己
- 13:20-13:40 **O-3 (P-49)**
Functional DKK1 antibodies demonstrate antagonistic and tumor suppression activities
Twist Bioscience Aaron K. Sato
- 13:40-14:00 **O-4 (P-60)**
抗 TfR1 抗体 PPMX-T003 の分子キャラクタリゼーション及び血液がんに及ぼす薬効評価
ペルセウスプロテオミクス 萩原 真二
- 14:00-14:20 **O-5 (P-64)**
難治性がん腫の克服を目指したがん微小環境を標的とする抗体薬物複合体の研究開発
名古屋大学 江崎 寛季
- 14:20-14:40 **O-6 (P-31)**
染色体工学技術の抗体研究への応用(4) 完全ヒト抗体産生動物×ファージディスプレイ法による腸組織移行性抗体の獲得および次世代抗体医薬品への応用
鳥取大学大学院 医学系研究科 医科学専攻 飛知和 弦輝

14:40-15:10 **コーヒーブレイク (ポスタービューイング) 30分**

座長：根本 直人 (埼玉大学)

- 15:10-15:35 **C-1**
デュオカルマイシンを用いた抗体ミメティクス結合薬
東京大学 児玉 龍彦
- 15:35-16:00 **C-2**
ウイルス感染症治療薬としての VHH
北里大学 片山 和彦

16:00-16:25	C-3 ウイルス変異に強いヒト末梢血由来抗体の特徴について	株式会社イーベック	土井 尚人
16:25-16:50	C-4 アゴニスト抗体創薬の挑戦	Epsilon Molecular Engineering	土屋 政幸
16:50-17:40	ポスター発表 (奇数)		
17:40-18:30	ポスター発表 (偶数)		

2日目>12月2日(土)

座長：村上 明一 (徳島大学)

9:30-9:50	O-7 (P-52) VHH 抗体提示 T7 フェージライブラリーの作製と鏡像 VHH 抗体の探索	京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻	前田 佳夕
9:50-10:10	O-8 (P-86) IgA 抗体の自己重合反応による四量体形成とその応用	北海道大学 ワクチン研究開発拠点	田畑 耕史郎
10:10-10:30	O-9 (P-108) In silico で改変した UT28K は SARS-CoV-2 オミクロン BA.1 に対して中和活性を回復した	富山大学 学術研究部医学系 免疫学	小澤 龍彦
10:30-10:50	O-10 (P-118) 環状一本鎖抗体を構成ユニットとする二重特異性 T 細胞誘導抗体の創製と評価	熊本大学 院生命科学(薬)	森岡 弘志
10:50-11:20	コーヒブレイク (ポスタービューイング) 30分		

座長：内山 進 (大阪大学)

11:20-12:05	C-5 中外の抗体技術とモノづくり力を生かした抗体創薬	中外製薬株式会社	倉持 太一
12:05-12:30	C-6 VHH の創薬研究・開発 - ナノゾラを一例として -	大正製薬株式会社 医薬研究本部 構造生物学研究室	黒川 智文
12:30-12:55	C-7 DXd ADC の技術開発と臨床応用の現状	第一三共株式会社 研究開発本部 研究統括部	金田 靖行

12:55-13:55 **ランチョンセミナー 1** (メイン会場) 共催：株式会社エービー・サイエックス
安定細胞株開発と抗体のハイスループット特性解析ソリューションのご紹介
モレキュラーデバイスジャパン株式会社 金廣 優一
株式会社エービー・サイエックス 横山 亮

ランチョンセミナー 2 (サテライト会場) 共催：東ソー株式会社
抗体医薬品の品質管理および機能設計のための Fc 受容体リガンド解析
東京大学大学院工学系研究科 長門石 暁、津本 浩平

座長：石井 明子 (国立医薬品食品衛生研究所)

13:55-14:20 **C-8**
二重特異性抗体デザインにおける Ig ドメインの連結
大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻 中西 猛

14:20-14:45 **C-9**
高性能モノクローナル抗体作製法の開発と応用
大阪公立大学 立花 太郎

14:45-15:10 **C-10**
蛋白質連結と特異的ペアリングによる多様な二重特異性抗体の構築技術
山形大学大学院理工学研究科 真壁 幸樹

15:10-15:40 **コーヒブレイク (ポスタービューイング) 30 分**

座長：伊東 祐二 (鹿児島大学)

15:40-16:05 **C-11**
抗体分子の結合速度定数の向上のための基盤技術開発とその応用
シスメックス株式会社 前田 真吾

16:05-16:30 **C-12**
抗体の変性構造を認識する小型人工タンパク質：高次構造品質分析への展開と分析原理
産業技術総合研究所 渡邊 秀樹

16:30-16:55 **C-13**
アカデミアの成果を社会実装する産学官の立場を経験して
理化学研究所 小泉 智信

16:55-17:30 **C-14**
Development of antibody for chimeric antigen receptor (CAR) T cell therapy: points to consider
Seoul National University College of Medicine Junho Chung

17:30-18:20 **ポスター発表 (奇数)**

18:20-19:10 **ポスター発表 (偶数)**

座長：村上 明一 (徳島大学)

- 13:30-13:55 **C-21**
3次元ホモダイク検出法を用いたサブミクロン凝集体のハイスループット分析
株式会社日立ハイテック 大澤 賢太郎
- 13:55-14:20 **C-22**
表面修飾多孔質ジルコニアビーズへの抗体分子の選択的吸着と効率的精製への応用
日本特殊陶業一産総研ヘルスケア・マテリアル連携研究ラボ 加藤 且也
- 14:20-14:45 **C-23**
抗体を用いた診断試薬の開発と高感度化への取り組み
東ソー株式会社 大野 侑香
- 14:45-15:10 **C-24**
インシリコモデリングへ向けた VHH 抗体の分子シミュレーション
埼玉大学 松永 康祐
- 15:10-15:35 **C-25**
The Role and Impact of Computational Modeling in the Design and Development of Antibody-based Therapeutics
Schrödinger Inc. Eliud Oloo
- 15:35-16:00 **C-26**
機械学習を駆使した進化分子工学：aiProtein による高性能タンパク質デザイン
株式会社レボルカ 浜松 典郎

16:00 **閉会の辞** (日本抗体学会副会長 根本 直人) * ポスター賞表彰を含む

ポスター発表プログラム

1日目：12月1日(金) ポスター番号 P-1～P-65 発表
(奇数番号) 16:50~17:40 (偶数番号) 17:40~18:30

2日目：12月2日(土) ポスター番号 P-66～P-130 発表
(奇数番号) 17:30~18:20 (偶数番号) 18:20~19:10

- P-1 **1:1 結合型バイパラトピック抗体による TNFR2 アンタゴニストの開発**
京都大学大学院薬学研究科、医薬基盤・健康・栄養研究所 秋葉 宏樹
- P-2 **3本鎖構造を利用した非対称 IgG 型二重特異性抗体の構築**
大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻化学バイオ工学分野 森田 知樹
- P-3 **Ecobody 技術を用いた抗イディオタイプ抗体の作製**
iBody 株式会社 河野 慎
- P-4 **EGFR の細胞外領域に結合する VNAR の開発**
愛媛大学 山崎 貴斗
- P-5(O-1) **Fab 抗体と Nanobody のスーパーチャージによる物性・機能改質**
東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻 笠原 慶亮
- P-6(O-2) **GPCR 特異的抗体を迅速・高効率に取得する革新的技術**
株式会社エヌビー健康研究所 芦田 仁己
- P-7 **Homogeneous asymmetric glycosylated rituximab binding affinity with FcγRIIIa investigated through enzymatic glycan remodeling technology**
Hoshi University Methanee Hiranyakorn
- P-8 **VHH 抗体の抗体工学によるレジオネラ検出系の開発研究**
アーク・リソース株式会社 清瀬 紀彦
- P-9 **VNAR ディスプレイライブラリの濃縮に翻訳系が与える影響**
愛媛大学 竹田 浩之
- P-10 **エクソソームの脾臓免疫による抗体誘導評価：宿主細胞膜表面に対する結合性評価**
徳島大学 大学院医歯薬学研究部 薬物動態制御学分野 福本 真子
- P-11 **ノロウイルス変異株の VLP を用いた抗体の作出と特性評価**
九大院薬 田川 純平

- P-12 **マルチな機能を同時最適化：機械学習を道先案内とした aiProtein 技術による抗体高機能化マイニング**
株式会社レポルカ 桑原 直之
- P-13 **マルチプレックスビーズを利用したペア逐次結合アッセイによる抗ヒト TNFR2 モノクローナル抗体群のエピトープグルーピング**
医薬基盤・健康・栄養研究所 伊勢 知子
- P-14 **モノクローナル抗体を選択的に、簡単に、短期間に高い効率で取得できる MIHS 法とその最新展開**
横浜国立大学大学院工学研究院分子生命学 栗原 靖之
- P-15 **遺伝子組換えイネを用いた抗体産生技術の開発**
愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 無細胞生命科学部門 澤崎 佑太
- P-16 **医薬・検査薬に適した構造認識モノクローナル抗体を一種類の抗原作製で簡単に取得できる改良型 MIHS 法の開発**
横浜国大・院理工・分子生命学 久芳 藤乃
- P-17 **解離非依存型 CAP 法により取得した高親和力変異 scFv を用いるコルチゾールの高感度生物発光 ELISA**
京都薬科大学 木口 裕貴
- P-18 **簡便な部位特異的 IgG 抗体修飾を可能とする tCAP 試薬**
株式会社ペプチド研究所 野原 由江
- P-19 **機械学習を組み合わせた進化分子工学的手法によるヒト型化ラクダ抗体の構造最適化**
東北大院工 五十嵐 智政
- P-20 **枯草菌による低分子抗体汎用生産技術の開発**
花王株式会社 西口 大貴
- P-21 **抗エイラクブカ IgNAR マウスモノクローナル抗体の開発**
愛媛大学 上原 翔斗
- P-22 **抗体配列進化追跡法によるウサギ抗体親和性成熟の解析**
京都大学 松田 知成
- P-23 **高機能化二重特異性抗体製造のための改良型プロテイン L ゲルの開発**
東ソー株式会社 岩瀬 瑛大
- P-24 **細胞融合法によるヒトがん抗原および T 細胞抗原に対する二重特異性抗体作製の試み**
大阪公立大学大学院 工学研究科 化学バイオ工学分野 横山 智哉子

- P-25 次世代 ADC 製造技術：新規親水性 “AJICAP® Linker” による治療可能域の拡大と High DAR ADC の作製
味の素(株) バイオ・ファイン研究所 高杉 梨花
- P-26 新規 Single B cell screening 技術を用いた膜タンパク質に対するウサギモノクローナル抗体の樹立
富士フイルム和光純薬株式会社 森 宣瑛
- P-27 新型コロナウイルスの結合阻害をする抗 ACE2 モノクローナル抗体の樹立
千葉大学 小笠原 諭
- P-28 染色体工学技術の抗体研究への応用(1) ヒト抗体重鎖・ λ 軽鎖遺伝子全長を保持する完全ヒト抗体産生マウスの開発
鳥大・院医・染医工 下谷 和人
- P-29 染色体工学技術の抗体研究への応用(2) 長鎖 CDRH3 指向型完全ヒト抗体産生マウスの作製
鳥取大学 医学部 生命科学科、鳥取大学 染色体工学研究センター 森脇 崇史
- P-30 染色体工学技術の抗体研究への応用(3) 細胞表面 IgG を用いた抗原特異的ヒト抗体を発現するハイブリドーマ細胞の濃縮法
鳥取大学染色体工学研究センター 里深 博幸
- P-31(O-6) 染色体工学技術の抗体研究への応用(4) 完全ヒト抗体産生動物×ファージディスプレイ法による腸組織移行性抗体の獲得および次世代抗体医薬品への応用
鳥取大学大学院 医学系研究科 医科学専攻 染色体医工学講座、鳥取大学 染色体工学研究センター 飛知和 弦輝
- P-32 染色体工学技術の抗体研究への応用(5) ハイスループットな CAR-T 機能評価系を用いた高活性型 CAR の配列探索
東葉大・生命・生物工学 藤原 有紗
- P-33 染色体工学技術の抗体研究への応用(6) ヒト抗体相補性決定領域(CDR)を標的としたゲノム編集誘導性分子多様化による Mammalian display システムの構築
東葉大・生命・生物工学 櫻井 諒一
- P-34 染色体工学技術の抗体研究への応用(7) 多様化誘導ヒト抗体ディスプレイシステムによる Wnt/ β カテニンシグナル制御分子の探索
東葉大・生命・生物工学 上田 航輝
- P-35 染色体工学技術の抗体研究への応用(8) 腸移行性 R-spondin/抗体複合体の開発
東葉大・生命・生物工学 本多 英嗣

- P-36 **染色体工学技術の抗体研究への応用(9) Mammalian display 法による抗 SARS-CoV-2 合成ヒトポリクローナル抗体取得**
東薬大・生命・生物工学 安倍 麻莉奈
- P-37 **染色体工学技術の抗体研究への応用(10) Mammalian display 法による抗 SARS-CoV-2 抗体モノクローナル抗体取得法の開発**
東薬大・生命・生物工学 宇野 愛海
- P-38 **大規模配列解析と機械学習を活用したファージライブラリー法による抗体断片の指向性進化**
東北大院工 河田 早矢
- P-39 **蛋白質エンジニアリング技術による次世代二重特異性抗体の開発**
中外製薬株式会社 若林 哲也
- P-40 **非対称フォーマットを利用した二重特異性 T 細胞リクルート抗体の構築**
大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻化学バイオ工学分野 小幡 匡
- P-41 **免疫チェックポイント分子を融合したプロドラッグ抗体の開発**
大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻化学バイオ工学分野 五十川 藍
- P-42 **Stereotypic persistent B cell receptor clonotypes in Alzheimer's Disease**
Department of Biochemistry and Molecular Biology, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea / Department of Biomedical Science, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea Hyunji Yang
- P-43 **Stereotypic $\gamma\delta$ T cells with T cell receptor encoded with TRDV1 gene specifically found among non-Hodgkin's lymphoma patients**
Department of Biochemistry and Molecular Biology, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea / Department of Biomedical Science, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea Jiyun Park
- P-44 **An ancestral SARS-CoV-2 vaccine induces anti-Omicron variants antibodies by hypermutation**
Department of Biochemistry and Molecular Biology, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea / Interdisciplinary Program in Cancer Biology Major, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea Seoryeong Park
- P-45 **The diagnostic potential of stereotypic B cell receptor clonotypes in mouse B cell lymphoma**
Department of Biochemistry and Molecular Biology, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea / Interdisciplinary Program in Cancer Biology Major, Seoul National University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea Kyeongun Kim
- P-46 **1 型糖尿病における IL-7R 標的 ADC (Antibody-drug conjugate) の開発**
国立がん研究センター 先端医療センター 新薬開発分野、
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻 松本 宗大

- P-47** **A Single Data Workflow Leveraging Middle-Down Sequencing to Validate Intact Mass Analysis Characterization of Therapeutic Antibodies**
 Genedata KK, Tokyo Tsubasa Ohashi
- P-48** **CD44 バリエントに対する網羅的抗体作製**
 東北大学大学院医学系研究科抗体創薬学分野 加藤 幸成
- P-49(O-3)** **Functional DKK1 antibodies demonstrate antagonistic and tumor suppression activities**
 Twist Bioscience Aaron K. Sato
- P-50** **PharmaLogical® VHH の CAR-T への応用**
 株式会社 Epsilon Molecular Engineering 村上 僚
- P-51** **SARS-CoV-2 スパイクタンパク質に対する広域中和二重特異性抗体の創出**
 東京理大院・薬 井上 徹哉
- P-52(O-7)** **VHH 抗体提示 T7 フェージライブラリーの作製と鏡像 VHH 抗体の探索**
 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 分子生命基礎医療科学 前田 佳夕
- P-53** **がん特異的な腫瘍浸透性と細胞傷害活性の向上を目指したプロドラッグ抗体の設計**
 東京農工大学 前島 敦
- P-54** **がん特異的抗 HER2 抗体の正常細胞 / がん細胞識別機構**
 阪大学 蛋白質研究所 有森 貴夫
- P-55** **グルコース PEG 修飾抗体の設計とがん免疫療法への応用**
 東京医科歯科大学、川崎市産業振興財団 持田 祐希
- P-56** **トラスツズマブの抗原分解型トラスツズマブへの変換と出現した新機能**
 大分大学大学院・工学研究科 辻田 萌
- P-57** **バイセクティング GlcNAc 含有複合型糖鎖を持つ均一な抗体医薬品の作製と活性評価**
 成蹊大学 武藤 羽純
- P-58** **ワクチン接種者のシングル B 細胞より取得された風しんウイルス中和抗体**
 iBody 株式会社 大内 将司
- P-59** **肝線維化を抑制するリード抗体の mRNA ディスプレイ法による創出**
 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 基礎理工学専攻 永渕 泰平

- P-60(O-4) 抗 Tfr1 抗体 PPMX-T003 の分子キャラクタリゼーション及び血液がんに及ぼす薬効評価
ペルセウスプロテオミクス 萩原 真二
- P-61 抗線維化薬としてのアゴニスト抗体の開発
株式会社 Epsilon Molecular Engineering 米原 涼
- P-62 新規 hTNF α ワクチン製剤の開発を目指した 不活化 hTNF α 誘導体のマウスへの免疫と抗体誘導評価
徳島大学 大学院医歯薬学研究所 薬物動態制御学分野 山本 遥香
- P-63 組織因子(tissue factor, TF)に対する抗体抗がん剤複合体の開発
国立がん研究センター EPOC 新薬開発分野 津村 遼
- P-64(O-5) 難治性がん腫の克服を目指したがん微小環境を標的とする抗体薬物複合体の研究開発
名古屋大学 榎本 篤
- P-65 伴侶動物用抗体医薬品の開発
MabGenesis 株式会社 浅野 禎三
- P-66 親和性ペプチドによる部位特異的修飾法 tCAP を用いた高機能抗体の調製と特性評価
鹿児島大院・理工学研究科 岩井 優実
- P-67 バイオ医薬品の樹脂製シリンジ表面への吸着
株式会社ユー・メディコ 柴田 耕生
- P-68 リサイクリング機能に着目した抗体 DDS 製剤の開発
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 先端生命科学専攻、
 国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野 多田 有花
- P-69 抗体医薬品及び ADC の詳細構造解析
株式会社東レリサーチセンター 田中 祥徳
- P-70 脳腫瘍への抗体デリバリーに血液脳関門が与える影響の解析
東京大学大学院新領域創成科学研究科先端生命科学専攻、国立がん研究センター先端医療開発センター 東 哲平
- P-71 抗体薬物複合体の凝集に伴う非標的細胞移行と毒性発現に関する研究
国立医薬品食品衛生研究所 青山 道彦
- P-72 LC-MS を用いたバイオシミラーにおけるペプチドの特性解析とモニタリング
日本ウォーターズ株式会社 矢田 絵都子

- P-73 マルチリフレクティング ToF MS により強化された抗体医薬品の特性解析
日本ウォーターズ 廣瀬 賢治
- P-74 抗体と FcRn の親和性評価のための高性能 FcRn 固定化カラム
東ソー株式会社 井上 成彰
- P-75 抗体安定性に関する物理化学的パラメータを用いた包括的な凝集傾向予測
大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻 岡田 梨櫻
- P-76 抗体医薬品 Multi Attribute Method への DIA-MS の利用
ステラス製薬株式会社、横浜市立大学 川瀬 直樹
- P-77 抗体医薬品におけるアスパラギン酸の脱アミド化機構における p H の影響
国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 先進バイオ医薬品プロジェクト 山中 結子
- P-78 抗体医薬品の脱アミド化解析におけるペプシンの有用性
医薬基盤・健康・栄養研究所 先進バイオ医薬品プロジェクト 鎌田 春彦
- P-79 抗体薬物複合体の分析に適した新規な高性能疎水クロマトグラフィー用カラムの開発
東ソー株式会社 濱田 幸恵
- P-80 酵素消化における RapiZyme トリプシンの有用性評価
日本ウォーターズ株式会社 深澤 啓介
- P-81 自動前処理システムを用いた Multi-attribute method による抗体医薬品の品質評価
国立医薬品食品衛生研究所 橋井 則貴
- P-82 耐自己消化性トリプシンを用いたバイオ医薬品ペプチドマッピングワークフローの改善
日本ウォーターズ株式会社 寺崎 真樹
- P-83 放射線分解が α 線放出核種アスタチン -211 標識抗体の薬理薬効に及ぼす影響
国立がん研究センター 高島 大輝
- P-84 Arg-SEC Mobile Phase シリーズを用いた凝集性抗体の精製および物性解析
ナカライテスク株式会社 川崎 茉希
- P-85 FcR カラムに直結した質量分析計による抗体薬物複合体の特性解析
株式会社東ソー分析センター 小松 恭子
- P-86(O-8) IgA 抗体の自己重合反応による四量体形成とその応用
北大 ワクチン研究開発拠点、感染研 感染病理部、北大 人獣共通感染症国際共同研究所 田畑 耕史郎

- P-87 **VHH および IgG の二次抗体としての性能評価**
ナカライテスク株式会社 研究部 平井 将太
- P-88 **ドメインスワッピングにより 4 量化する抗体軽鎖の会合挙動と X 線結晶構造**
奈良先端科学技術大学院大学 酒井 隆裕
- P-89 **ヒト血清アルブミンに対するシングルドメイン抗体の抗原認識と安定性の解析**
京都府立大学 古川 瑞穂
- P-90 **抗体の親和性成熟と安定性低下のトレードオフ ～変異体を用いた要因解析～**
京都府立大学 藪野 沙彩
- P-91 **抗体の不思議な構造変化：酸性溶液中では天然構造よりも小さくコンパクトな球状構造になる**
長浜バイオ大学 今村 比呂志
- P-92 **酸処理した高濃度抗体溶液に対するラマンスペクトルおよび熱安定性解析**
株式会社堀場製作所 佐藤 優穂
- P-93 **親和性成熟前後の抗ニトロフェニル抗体の結晶構造と抗原認識の変化**
京都府立大学 由田 睦
- P-94 **多量化する抗体軽鎖への金属イオン添加の影響**
奈良先端科学技術大学院大学 山地 辰哉
- P-95 **卵白リゾチーム対する一本鎖 F_v 抗体の構造機能解析**
京都府立大学 上垣 蓮斗
- P-96 **ウサギ抗体を用いたクエンチ型 cAMP 蛍光免疫センサーの開発**
株式会社 HikariQ Health、東京工業大学生命理工学院 井上 暁人
- P-97 **ヒト活性型 IL-18 を高感度に検出する新規 ELISA の開発とその応用**
島根大学 加美野 宏樹
- P-98 **高感度免疫検査への利用を目指した酵素融合単鎖抗体の開発**
京都工芸繊維大学大学院機能物質化学専攻 瀧澤 豪
- P-99 **新規マイクロ流路と VHH 抗体を用いた迅速 ELISA キットの開発とスマート医療検査への挑戦**
産業技術総合研究所 瀧脇 雄介
- P-100 **新規検出デバイス搭載に向けた抗ノロウイルス抗体の作製**
東京工業大学大学院生命理工学院 八鍬 佑樹

- P-101 **Improvement of gibberellin fluorescent immunosensor applicable to live-cell imaging**
Tokyo Institute of Technology Zixu Feng
- P-102 **生物発光免疫センサーの発光活性増大機構の解明とその原理の全長抗体への展開**
東京工業大学科学技術創成研究院 安田 貴信
- P-103 **低分子抗体と乳酸酸化酵素との融合による四価抗体酵素複合体の開発と電気化学センサへの応用**
東京農工大学 織田 美帆
- P-104 **AirID 融合抗ブリ IgM 抗体を用いた細菌性溶血性黄疸ワクチン抗原タンパク質の探索**
愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 無細胞生命科学部門 森 玲香
- P-105 **Antibody Mimetic Drug Conjugate によるがん治療法開発**
東京大学 杉山 暁
- P-106 **FtsZ のネイティブタンパク質間相互作用から発想するエピトープターゲティング抗体設計**
東北大院工 中澤 光
- P-107 **Improving efficiency in the Discovery and Development of Bispecific and ADCs**
Genedata KK, Tokyo, Japan Meripet Yamanaka
- P-108(0-9) **In silico で改変した UT28K は SARS-CoV-2 オミクロン BA.1 に対して中和活性を回復した**
富山大学 学術研究部医学系 免疫学、富山大学 先端抗体医薬開発センター 小澤 龍彦
- P-109 **LC-MS を用いたリジン結合 ADC のオルソゴナルな特性解析法**
プロテインメトリックス 栗本 綾子
- P-110 **MAXS 法で見出された抗体の非等価運動、及び機能相関への可能性**
株式会社リガフ 松本 崇
- P-111 **One-pot 糖鎖リモデリング法による部位特異的 ADC の合成とその特性解析**
公益財団法人 野口研究所 水野 真盛
- P-112 **Physics-based antibody analysis and design: Modeling of antigen-antibody complexes with disordered epitopes/very long CDR-H3 loops**
シュレーディングー株式会社 市原 収

- P-113 ProteinA アフィニティを使用しない新規シングルユース部材を使った抗体精製プロセスの開発
三菱ケミカル株式会社 小原 祥平
- P-114 Total holographic Characterization (THC) 法によるサブビジブル抗体凝集体及び遊離脂肪酸の定量
昭光サイエンス 鶴田 英一
- P-115 インフルエンザウイルス HA に対するモノクローナル抗体の抗体酵素への直接的変換
大分大学大学院・工学研究科 伊東 優依
- P-116 ウテログロビンを骨格とした新規抗体様分子の創製
医薬基盤健康栄養研究所 新山 真由美
- P-117 プロテインA精製が可能な抗 CD3 scFv の開発と低分子二重特異性抗体への応用
東京農工大学 名塚 美冴
- P-118(0-10) 環状一本鎖抗体を構成ユニットとする二重特異性 T 細胞誘導抗体の創製と評価
熊本大院生命科学(薬) 森岡 弘志
- P-119 巨大貫通孔をもつ新規分離材：スポンジモノリスによる高速アフィニティー分離
京都大学 大学院工学研究科 谷川 哲也
- P-120 血液脳関門透過性環状ペプチド融合モノクローナル抗体の作成とマウス脳移行性解析
熊本大学大学院生命科学研究部、熊本大学大学院薬学教育部、熊本大学薬学部 伊藤 慎悟
- P-121 言語モデルをベースにした VHH 抗体物性予測モデルの開発
玉大学 外立 悠貴
- P-122 抗原情報を考慮した機械学習によるタンパク質結合力予測の精度向上
北里大学 未来工学部 データサイエンス学科 来見田 遙一
- P-123 抗体医薬品及び生体ナノ粒子の高速・高効率精製のための多孔性分離基材の開発
京都大学 久保 拓也
- P-124 抗体活性を持つ新しいシルク素材「アフィニティーシルク」の開発
農研機構 生物機能利用研究部門 佐藤 充
- P-125 細胞内抗体に適した VHH ライブラリーの開発
株式会社 Epsilon Molecular Engineering 望月 佑樹
- P-126 次世代 ADC 製造技術：化学的・位置特異的“AJICAP® Conjugation”の開発
味の素(株) バイオ・ファイン研究所 千葉 明

- P-127 **新規 Protein A 充填剤を用いたキャプチャー工程の効率化**
東ソー株式会社 宇野 雅俊
- P-128 **新規ヤヌス抗体を用いた抗原の細胞内輸送の試み**
熊本高専・生物化学システム工学科 吉永 圭介
- P-129 **多様なエピトープに結合する VHH スクリーニングの実施方法の開発**
株式会社 Epsilon Molecular Engineering 熊地 重文
- P-130 **溶液中におけるマウス IgG の経時的な構造変化が機能に与える影響**
農工大、農、院、応用生命 佐藤 瑛美